



本番環境移行ガイド



本番環境移行ガイド 目次

はじめに.....	- 3 -
本番移行作業とは.....	- 3 -
本番移行作業一覧	- 4 -
1. 商品情報の移行	- 5 -
1.1 商品情報一式の移行	- 5 -
ステージング環境から商品情報を書き出す	- 5 -
本番環境に商品情報を登録する	- 7 -
◆補足: デザイン数が多いときの商品情報分割について	- 10 -
◆補足: 商品データが移行されない条件について	- 12 -
1.2 価格マスターの移行	- 13 -
ステージング環境から価格マスターを書き出す	- 13 -
本番環境に価格マスターを登録する	- 14 -
2. デザインの移行・本番登録	- 15 -
2.1 デザインテンプレートの本番登録	- 15 -
本番環境にデザインテンプレートを登録する	- 15 -
2.2 デザインカテゴリの移行	- 17 -
ステージング環境からデザインカテゴリ情報を書き出す	- 17 -
本番環境にデザインカテゴリ情報を登録する	- 19 -
3. 画面データの移行	- 21 -
3.1 動的画面CMSデータの移行	- 21 -
ステージング環境から動的画面のCMSデータを書き出す	- 21 -
本番環境に動的画面のCMSデータを登録する	- 22 -
3.2 画像・CSS・静的画面データの移行	- 23 -
FTPサーバーのファイルを移行する	- 23 -
3.3 システム領域のテキストの移行	- 24 -
ステージング環境からシステム領域のテキストを書き出す	- 24 -
本番環境にシステム領域のテキストを登録する	- 25 -
4. 運用情報の本番登録	- 26 -
4.1 メールマスターの本番登録	- 26 -
本番環境にメールアドレス・メール本文を登録する	- 26 -
4.2 口座番号の本番登録	- 28 -
本番環境に銀行口座情報を登録する	- 28 -
4.3 割引マスターの本番登録	- 29 -
本番環境に割引マスターを登録する	- 29 -
4.4 クーポン情報の本番登録	- 30 -
本番環境にクーポン情報を登録する	- 30 -
5. その他データの移行	- 32 -
5.1 商品カテゴリの移行(データ入稿封筒)	- 32 -
ステージング環境から商品カテゴリ情報を書き出す	- 32 -
本番環境に商品カテゴリ情報を登録する	- 34 -
5.2 部材カテゴリの移行(データ入稿封筒)	- 36 -
ステージング環境から部材カテゴリ情報を書き出す	- 36 -
本番環境に部材カテゴリ情報を登録する	- 38 -
6. 最終チェック	- 40 -
6.1 運用開始前チェック	- 40 -
運用開始前チェック	- 40 -

はじめに

本番環境移行作業の概要について解説します。

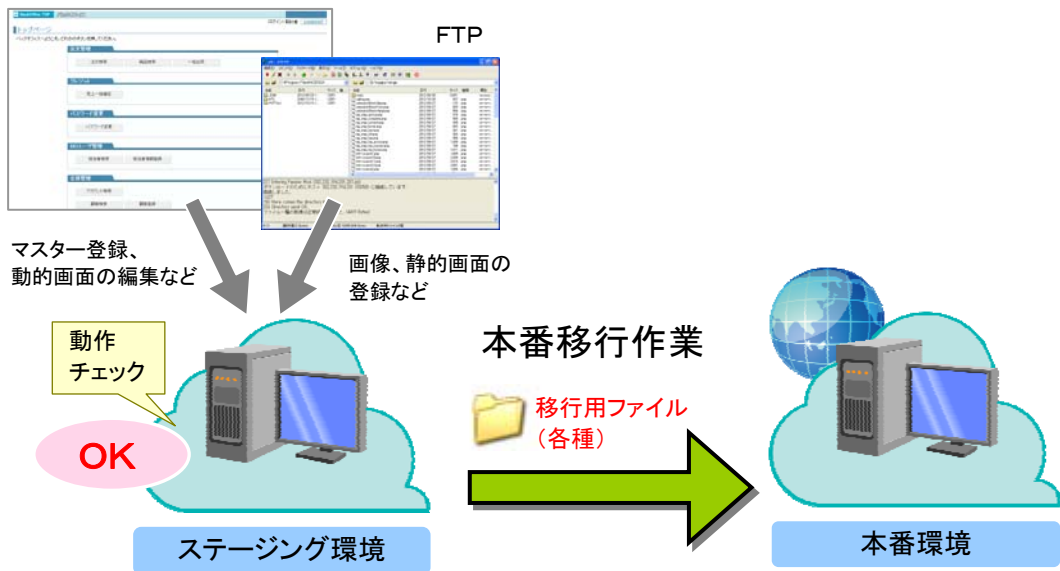
本番移行作業とは

本番移行作業
ステージング環境
本番環境

本番移行作業とは、すべてのデータの登録が終了した「ステージング環境」のデータを、「本番環境」にコピーするための作業です。

ジグミーでは、ショップのマスター登録や画面の編集は、ステージング環境に対して行います。最終的な動作チェックもステージング環境で行います(その間、本番環境の内容を直接変更してはいけません)。ステージング環境ですべての動作がOKとなったら、その内容を本番環境に移行します。

バックオフィス



重要

▶ データ削除機能については、「運用ガイド2 マスター登録編」を参照してください。

●本番環境への移行の前に、ステージング環境ですべての動作を確認してください

ステージング環境にデータを登録したら、画面の表示や価格計算、注文の完了など、すべての動作が正常にできることをステージング環境で確認してください。ステージング環境の状態を完全にしてから、本番移行作業を行ってください。

●不要データは、状態を「無効」のままにせず、データ削除機能で削除してください

ステージング環境で状態が「無効」のデータは、条件により移行されないことがあります。不要なデータは、データ削除機能で完全に削除してから本番移行作業を行ってください。

●本番環境の画面データやマスターは、決して直接編集しないでください

本番環境のデータを直接編集すると、ステージング環境のデータとの差異が生じ、最悪の場合は二度と注文できなくなることがあります。画面データやマスターの編集は、必ずステージング環境にて行い、動作確認後に「本番移行作業」の手順に従って本番環境にコピーしてください。

●一部のデータは、本番環境への再登録が必要です

メールマスター・口座番号・割引マスター・クーポンは、ステージング環境から「移行」するのではなく、ステージング環境と同じ内容を本番環境にも改めて「登録」する必要があります。

本番移行作業一覧

本番移行作業は、移行するデータの種類に応じて下表①～⑤の5種があります。初めてサイトをオープンするときは、下表①～⑤のすべての作業と最終チェックを行い、ステージング環境の全データを本番環境に移行します。

オープン済みのサイトに関しては、変更されたデータのみ移行・チェックすれば問題ありません。

こんなときは…	行う作業	移行するデータ	ステージング環境の操作	本番環境の操作
一度も本番環境に移行していないとき	下記すべて	下記すべて		
商品(価格帯)を変更したとき 部材(用紙・はがき)を変更したとき デザイングループを変更したとき デザインのサムネイルを変更したとき デザイン名を変更したとき	①商品情報の移行	商品情報一式<P.5> ・商品カタログ ・部材カタログ ・デザイングループ ・デザインカタログ ・サムネイル画像 ・カタログマップ情報	商品マスター管理 →データ交換 →商品(一式)エクスポート	商品マスター管理 →データ交換 →商品(一式)インポート
価格マスターを登録・変更したとき		・価格マスター <P.13>	価格マスター管理 →エクスポート	価格マスター管理 →インポート
デザインテンプレートを変更するとき ★サムネイル画像の変更は「①商品情報の移行」で行われます。	②デザインの移行・登録	・デザインテンプレート <P.15> ※1 ※2		商品マスター管理 →データ交換 →テンプレートファイルインポート
デザインカテゴリを変更したとき デザインの割り当てを変更したとき デザイン検索カテゴリを変更したとき		・デザインカテゴリ <P.17>	商品マスター管理 →データ交換 →デザインカテゴリエクスポート	商品マスター管理 →データ交換 →デザインカテゴリインポート
動的画面のhtmlを変更したとき	③画面データの移行	・動的画面(CMS) <P.21>	CMS管理 →一括取得・設定 →CMSエクスポート	CMS管理 →一括取得・設定 →CMSインポート
画像を変更したとき ユーザーCSSを変更したとき 静的画面のhtmlを変更したとき		・画像・CSS・静的画面 <P.23>	ステージング環境のFTPサーバーから、最新ファイルをローカルに取得	取得した最新ファイルを、本番環境のFTPサーバーにコピー
動的画面中の文言を変更したとき		・動的画面中のテキスト	CMS管理 →文言本番移行 →一括エクスポート	CMS管理 →文言本番移行 →一括インポート
メールの本文・件名を変更するとき メールのアドレスを変更するとき	④運用情報の登録 ※3	・メールマスター<P.26>		メールマスター管理
銀行振込の口座情報を登録するとき		・口座番号<P.28>		口座番号管理 →口座番号登録
割引情報を変更するとき 割引金額・割引期間を変更するとき		・割引マスター<P.29>		マスター管理 →割引マスター登録
クーポン情報を変更するとき クーポン金額・有効期限を変更するとき		・クーポン情報<P.30>		クーポン管理 →クーポン発行
データ入稿封筒の商品カテゴリを変更したとき	⑤その他データの移行	・商品カテゴリ<P.32>	商品マスター管理 →データ交換 →商品カテゴリエクスポート	商品マスター管理 →データ交換 →商品カテゴリインポート
データ入稿封筒の部材カテゴリを変更したとき		・部材カテゴリ<P.36>	商品マスター管理 →データ交換 →部材カテゴリエクスポート	商品マスター管理 →データ交換 →部材カテゴリインポート
	最終チェック<P.40>			



※1 デザインテンプレートは、ステージング環境に登録したのと同じ登録用ファイルを、本番環境にも登録します。ただし登録方法はステージング環境の場合と異なります。

※2 デザインのサムネイル画像は「商品情報の移行」で移行されます。「デザインテンプレートの本番登録」ではテンプレートデータの本体のみ登録されます。

※3 ステージング環境に登録した同じ内容を、本番環境にも登録します。ただし、割引やクーポンの有効期間はテスト用の期間ではなく、本当の期間を登録します。

1

商品情報の移行

ステージング環境に登録した商品情報一式を、本番環境に移行します。

1.1 商品情報一式の移行

はじめにステージング環境から移行用ファイルを書き出し、それを本番環境に読み込みます。

ステージング環境から商品情報を書き出す

ステージング ▶

要約

操作概略	①ステージング環境バックオフィスにログイン ②商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→商品(一式)エクスポート ③商品の移行用ファイルが書き出される
注意事項	含まれるデザインが多いときは、目安として概ね 100 個未満になるよう、商品ごとに分割することを推奨します。

手順

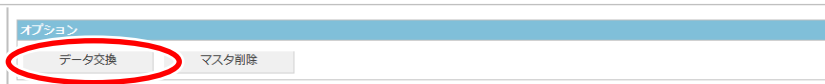
1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。
データを移行する商品のサービス名を選択します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取扱商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入稿封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
72000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	費中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。
「オプション」の[データ交換]を押します。



4. データ交換メニューが表示されるので、[商品(一式)エクスポート]を押します。



5. 商品(一式)エクスポート画面が表示されるので、[エクスポート]を押します。

エクスポートとは、データを外部のファイルに書き出すことです。



登録されているデザインが大量にあるとき(目安として 100 件以上)は、処理時間がかかりすぎるのを防ぐため、複数ファイルに分割することを推奨します。「補足: デザイン数が多いときの商品情報分割について」<P.10>を参照してください。

6. 商品(一式)の移行用ファイルが書き出され、ブラウザでダウンロードされます。

▶ ファイルを保存するか、開くかを選択するダイアログが表示されるときは、保存を選択してください。



ProductTreeExport.zip

※ファイル名の末尾には、ダウンロード回数を示す数字が付くことがあります。

次に、このファイルを本番環境に登録します。「本番環境に商品情報を登録する」<次ページ>に進んでください。



●商品の移行用ファイルには、デザインのサムネイル画像も含まれます

商品情報の移行では、デザインテンプレートの実体は移行されませんが、デザインのサムネイル画像は移行されます。商品情報の移行では「商品カタログ情報」が移行されますが、デザインのサムネイルも商品カタログ情報に含まれているためです。

もし、商品情報を移行せず、デザインテンプレートのみを本番環境に移行登録しても、サムネイル画像は移行されませんので注意してください。

●状態が「無効」のデータは、書き出されないことがあります

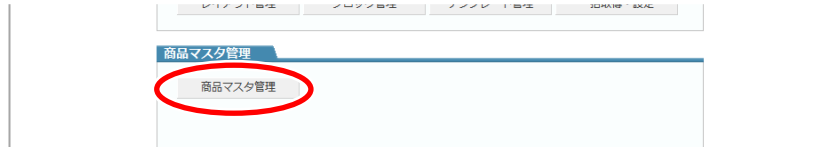
ステージング環境にて、データの状態を「無効」にすることは通常ありませんが、もし「無効」のデータがあった場合、条件によって書き出されないことがあります。詳しくは「補足: 商品データが移行されない条件について」<P.12>を参照してください。

要約

操作概略	①本番環境バックオフィスにログイン ②商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→商品(一式)インポート
注意事項	移行用ファイルを複数に分割して書き出したときは、すべてのファイルを登録してください。

手順

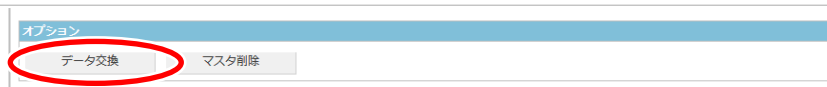
1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。
データを登録する商品のサービス名を選択します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取替商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入替封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
20000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	費中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。
「オプション」の[データ交換]を押します。



4. データ交換メニューが表示されるので、[商品(一式)インポート]を押します。



5. 商品(一式)インポート画面が表示されます。

インポートとは、ファイルからデータを読み込んで登録することです。



重要

もしデザインが大量にあり、ステージング環境から複数の移行ファイルに分けて書き出したときは、以下の操作を繰り返し、すべての移行ファイルを読み込んでください。

①ステージング環境から書き出した、移行用ファイルを選択します。

ProductTreeExport.zip

②[インポート]を押します。

i 「カレントサービス」にチェックを付けると、誤ってステージング環境と異なるサービスに登録しようとした場合、エラーを表示することができます。

6. インポート処理が行われます。

処理には時間がかかります。しばらく反応がない場合も、そのままお待ちください。

終了すると、画面下部にオレンジ色のメッセージが列挙されます。

0件の商品カタログマスタを新規登録しました。
40件の商品カタログマスタを更新しました。
0件の商品カタログマスタが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
0件のデザイングループマスタを新規登録しました。
40件のデザイングループマスタを更新しました。
0件のデザイングループマスタが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
0件のデザインカタログマスタを新規登録しました。
4件のデザインカタログマスタを更新しました。
0件のデザインカタログマスタが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
0件の部材カタログマスタを新規登録しました。
40件の部材カタログマスタを更新しました。
0件の部材カタログマスタが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
0件の素材属性マスタを新規登録しました。
0件の素材属性マスタが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
40件の商品デザイングループマップを新規登録しました。
0件の商品デザイングループマップを更新しました。
0件の商品デザイングループマップが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
40件の商品素材マップを新規登録しました。
0件の商品素材マップを更新しました。
0件の商品素材マップが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
0件のオプション商品マスタを新規登録しました。
0件のオプション商品マスタを更新しました。
0件のオプション商品マスタが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
0件のカテゴリマップを新規登録しました。
5件のカテゴリマップを更新しました。
0件のカテゴリマップが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。
商品(一式)インポート処理が完了しました。

正常終了した場合も、
表示されるメッセージ
数は同じです。

■登録が無事完了したデータ

新規登録または更新された件数が表示され、スキップされた件数は0件となります。

40 件の商品カタログマスタを新規登録しました。

40 件の商品カタログマスタを更新しました。

0 件の商品カタログマスタが紐付けされたマスターが見つからないためスキップしました。

■登録に失敗したデータ

新規登録・更新の件数はともに0となり、スキップされた件数が入ります。

0 件の商品カタログマスタを新規登録しました。

0 件の商品カタログマスタを更新しました。

80 件の商品カタログマスタが紐付けされたマスターが見つからないためスキップしました。



補足

●カテゴリマップの登録失敗は、デザインカテゴリの移行までは無視してください

デザインカテゴリを移行していないときは、下記のメッセージが表示されることがあります。

n 件のカテゴリマップが紐付けされたマスターが見つからないためスキップしました。

デザインカテゴリの移行までは、このメッセージは問題ありませんので無視してください。デザインカテゴリの移行の際に、自動的に登録されます。



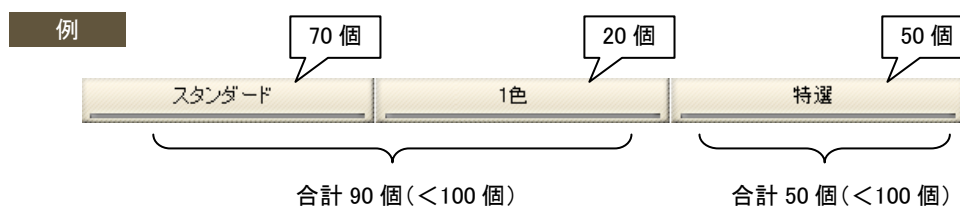
●インポート中にシステムエラーが発生したとき

処理時間がタイムアウト時間を越えてしまうことなどが原因で、データ数が大量の場合、インポート完了のメッセージが表示される前にシステムエラーが発生してしまうことがあります。処理中にエラーが発生したときは、すべてのデータ登録処理がキャンセルされていますので、中途半端に一部のみ登録されていることはありません。

なお、インポート自体が完全に終了した直後にシステムエラーが発生することがあります。このようなときは、1件でも最新状態になっていることが確認できれば、登録した全データが正しく登録されています。大量データのインポートにてシステムエラーが発生し、インポートが完了したかどうかははっきりしないときは、どれか1件が正しく更新されているかどうかを調べてください。

補足:デザイン数が多いときの商品情報分割について

ひとつの移行用ファイルの商品が大量のデザインを含む場合、移行に時間がかかりすぎて、本番環境への登録中にエラーとなる場合があります。目安として、含まれるデザインが 100 個未満になるように、移行用ファイルを分割することを推奨します。



この例では総計が 140 個となるため、念のためそれぞれが 100 個未満となるよう、商品を2つの移行用ファイルに分割して出力します。

手順

まず、それぞれの商品の商品コードを調べておきます。

1. 「ステージング環境から商品情報を書き出す」<P.5>の手順1～3に従い、商品マスター管理トップ画面を表示します。
2. [商品検索]を押します。



3. 商品カタログ検索・一覧画面が表示されます。

①商品の一覧を表示するため、[検索実行]を押します。

検索条件

サービス: 年賀状

商品コード: 部分一致検索

商品名: 部分一致検索

有効日時: 指定日時で有効な商品カタログを検索

状態: ☐ 無効 ☒ 有効

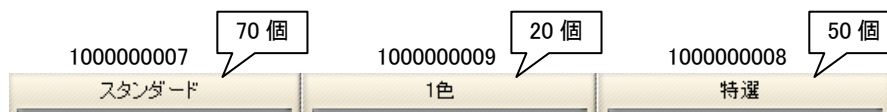
検索実行

8件中: 1～8件目 | 1 |

商品コード	商品名	開始日	終了日
1000000007	スタンダード	2012/09/01 00:00	9888/12/31 00:00
1000000008	特選	2012/09/01 00:00	9888/12/31 00:00
1000000009	1色	2012/09/01 00:00	9888/12/31 00:00
1000000010	フォトフレーム	2012/09/01 00:00	9888/12/31 00:00
1000000011	フォト	2012/09/01 00:00	2099/12/31 19:03
1000000012	2・3色	2012/09/01 00:00	2099/12/31 00:00

検索条件を入力して絞り込むこともできます。

②商品の一覧が表示されるので、それぞれの商品コードを控えておきます。



次に、この商品コードをもとに移行用ファイルを分割し、書き出します。

ここではそれぞれが 100 個未満のデザイン数になるよう、①スタンダード+1色、②特選の2ファイルに分割します。

4. 「ステージング環境から商品情報を書き出す」<P.5>の手順1～5に従い、商品情報(一式)エクスポート画面を表示します。

①書き出す商品コードを、この入力欄にカンマで区切って列挙します。

②この指定では、商品コード 1000000007(スタンダード・70 個)、1000000009(1色・20 個)の2商品(合計 90 デザイン)が、ひとつのファイルに書き出されます。

5. [エクスポート]を押します。

商品コード 1000000007、1000000009 を含む移行用ファイルが書き出されます。

6. 同様に、手順4で残りの商品コードを入力し、[エクスポート]を押して書き出します。

商品コード 1000000008(特選・50 個)だけが、ひとつのファイルに書き出されます。

本番環境に登録する際は、書き出した複数のファイルをひとつずつ指定し、繰り返し登録してください。



●デザイン数が 100 個以上になっても、通常は移行が可能です

ひとつの商品に割り当てられているデザイン数が、そもそも 100 個以上である場合、それ以上移行用ファイルを分割することができません。

100 個という数は、本番移行処理を短く(数十秒～数分)で終わるための目安です。余裕を持った数であり、通常は 100 個なら 30 秒～1 分程度で処理が終了します。1商品のデザインが 100 個を大幅に超えると、失敗の可能性が出てきますので、その場合は複数商品をまとめず、1商品ずつ移行用ファイルを書き出して移行してください。

補足：商品データが移行されない条件について

商品情報一式の移行の際、データの状態（有効・無効）や、商品・部材・デザイン等の結び付けの有無によっては、データが移行用ファイルに書き出されず、移行されないことがあります。

●状態（有効・無効）による、商品（一式）エクスポートの動作

移行データ	状態	エクスポートの動作
商品カタログ	有効	書き出されます。
	無効	エクスポート時に、「状態：□無効」にチェックを付けると、書き出されます。初期状態では書き出されません。
部材カタログ	有効	通常は書き出されますが、次の場合は書き出されません。 ①部材が結びついている商品カタログの状態が「無効」で、エクスポート時に無効商品を書き出さない場合、かつ無効商品にしか結び付いていない部材は、書き出されません。 ②いずれの有効商品にも結び付いていない部材は、書き出されません。
	無効	有効の場合と同じです。
デザイングループ	有効	通常は書き出されますが、次の場合は書き出されません。 ①デザイングループが結びついている商品カタログの状態が「無効」で、エクスポート時に無効商品を書き出さない場合、かつ無効商品にしか結び付いていないデザイングループは、書き出されません。 ②いずれの有効商品にも結び付いていないデザイングループは、書き出されません。
	無効	有効の場合と同じです。
デザインカタログ	有効	通常は書き出されますが、次の場合は書き出されません。 ①デザインカタログが結びついている商品カタログの状態が「無効」で、エクスポート時に無効商品を書き出さない場合、かつ無効商品にしか結び付いていないデザインカタログは、書き出されません。 ②いずれの有効商品にも結び付いていないデザインカタログは、書き出されません。
	無効	どのような場合でも書き出されません。



●本番環境への移行の前に、不要データは削除してください

状態の「無効」は、本番環境にて一時的に商品の販売を停止する際に使用するもので、ステージング環境のデータを「無効」のままにすることは通常ありません。もしステージング環境にて、不要になったデータを削除せず、単に「無効」に設定していることがありましたら、そのままにせず、データ削除機能にて完全に削除してから移行してください。

詳しくは、「運用ガイド2 マスター登録編」の「不要データの削除」を参照してください。

1.2 価格マスターの移行

ステージング環境から価格マスターを書き出し、それを本番環境に読み込みます。

ステージング環境から価格マスターを書き出す

ステージング ▶

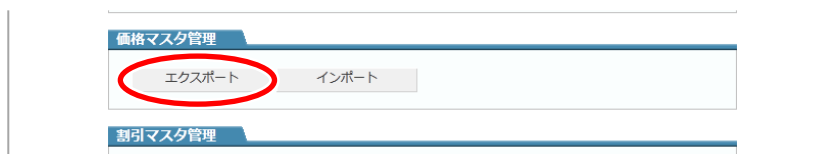
要約

操作概略

- ①ステージング環境バックオフィスにログイン
- ②価格マスター管理→エクスポート
- ③価格マスターのCSVファイルが書き出される

手順

1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、「価格マスター管理」の[エクスポート]を押します。



2. 価格エクスポート画面が表示されるので、そのまま[エクスポート]を押します。



⚠ すべての価格データを移行しますので、特定の条件で絞り込まないでください。

3. 価格マスターが CSV ファイルに書き出され、ブラウザでダウンロードされます。

▶ ファイルを保存するか、開くかを選択するダイアログが表示されるときは、保存を選択してください。



MPRICE20130701152526.csv

※ファイル名は、MPRICE(出力日時).csv となります。

次に、このファイルを本番環境に登録します。

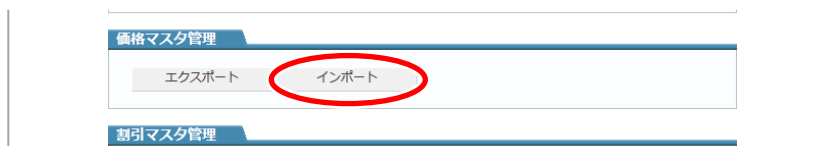
「本番環境に価格マスターを登録する」<次ページ>に進んでください。

要約

操作概略	①本番環境バックオフィスにログイン ②価格マスター管理→インポート
------	--------------------------------------

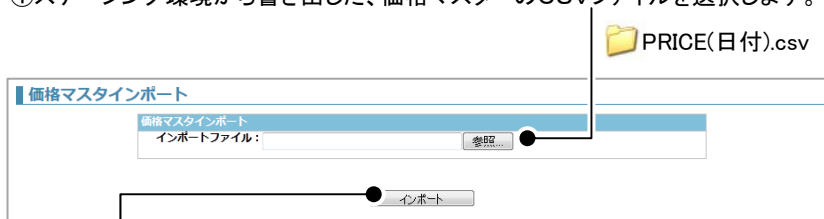
手順

1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、「価格マスター管理」の[インポート]を押します。



2. 価格マスターインポート画面が表示されます。

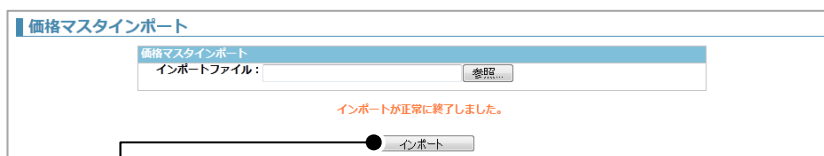
- ①ステージング環境から書き出した、価格マスターのCSVファイルを選択します。



- ②[インポート]を押します。

3. インポート処理が行われます。

処理が完了すると、次のメッセージが表示されます。



正常終了のメッセージ

これで価格データが本番環境に移行されました。

2

デザインの移行・本番登録

デザインテンプレート一式を本番環境に登録し、デザインカテゴリをステージング環境から本番環境に移行します。

2.1 デザインテンプレートの本番登録

デザインテンプレートは、ステージング環境から書き出すのではなく、デザイン情報管理ツールから出力した「登録用ファイル」を、そのまま本番環境にも登録します。

なお、本番環境への登録方法は、ステージング環境への登録方法とは異なりますので注意してください。



●ステージング環境に登録したときと、同じ登録用ファイルで登録してください

もし、異なる登録用ファイルを使用して本番環境に登録してしまうと、ステージング環境と本番環境のデザインテンプレートに差異が生じ、商品情報との不一致が生じて注文ができなくなることがあります。必ず、同一の登録用ファイルを使用してください。

本番環境にデザインテンプレートに登録する

▶ 本番環境

要約

操作概略

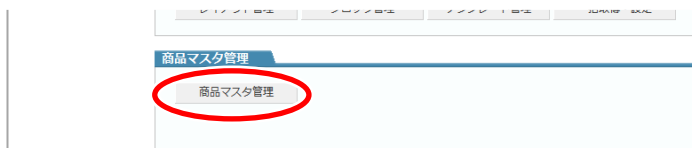
- ①ステージング環境に登録したのと同じ、デザインテンプレートの登録用ファイルを用意する
- ②本番環境バックオフィスにログイン
- ③商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→テンプレートファイルインポート

注意事項

本番環境へのデザインテンプレート登録方法は、ステージング環境とは異なります。
サムネイル画像はここでは登録されません。商品情報の移行<P.5>で移行されます。

手順

1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



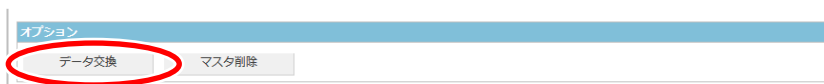
2. サービスマスター一覧画面が表示されます。

データを登録する商品のサービス名を選択します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取扱商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入稿封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
72000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	喪中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。

「オプション」の[データ交換]を押します。

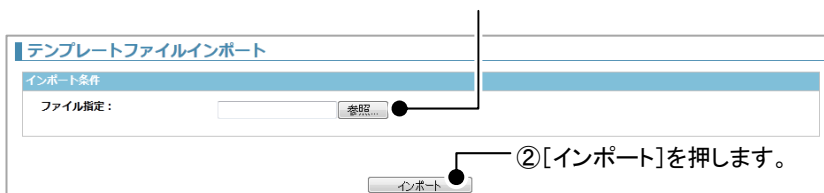


4. データ交換メニューが表示されるので、[テンプレートファイルインポート]を押します。



5. テンプレートファイルインポート画面が表示されます。

①ステージング環境に登録したものと同一、登録用ファイルを選択します。



6. インポート処理が行われます。

処理が完了すると、正常終了のメッセージが表示されます。



これでステージング環境と同じデザインテンプレートが本番環境に登録されました。



デザインカタログ

●デザインテンプレートとデザインカタログ情報

デザインには、デザインテンプレートとデザインカタログという2つの情報があります。デザインテンプレートは、デザインを印刷やプレビューに使用する際の、名入れや背景画像などの印刷レイアウトデータです。一方デザインカタログとは、デザインを注文画面に表示するための情報で、デザインの名やサムネイル画像、商品説明文などが含まれます。

デザインテンプレート
＝印刷・プレビュー用データ



デザインカタログ
＝注文画面への表示情報



●デザインテンプレートを登録しただけでは、サムネイル画像は移行されません

「テンプレートファイルインポート」で本番環境に登録されたのは、デザインテンプレートだけです。**サムネイル画像はデザインテンプレートには含まれていない**ため、この作業では移行されません。サムネイル画像の移行は、「商品情報一式の移行」<P.5>によって、ステージング環境から移行されます。

2.2 デザインカテゴリの移行

注文時のデザイン選択画面に表示される、デザインのジャンルの情報を移行します。はじめにステージング環境から移行用ファイルを書き出し、それを本番環境に読み込みます。

ステージング環境からデザインカテゴリ情報を書き出す

ステージング ▶

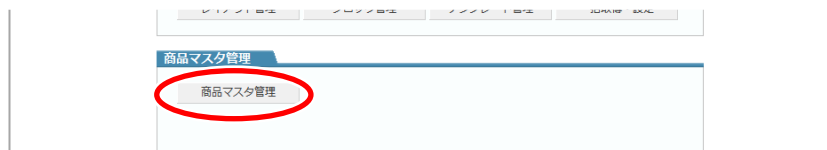
要約

操作概略

- ①ステージング環境バックオフィスにログイン
- ②商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→デザインカテゴリエクスポート
- ③デザインカテゴリの移行用ファイルが書き出される

手順

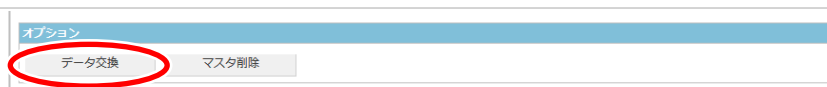
1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。
データを移行する商品のサービス名を選択します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取替商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入稿封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
72000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	喪中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。
「オプション」の[データ交換]を押します。



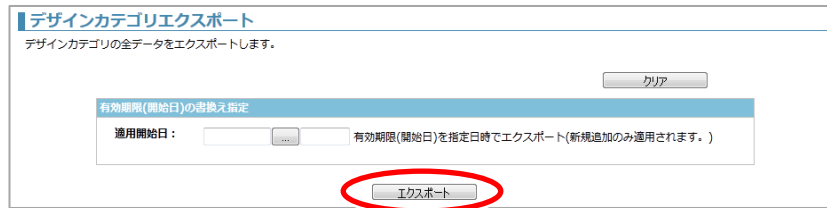
4. データ交換メニューが表示されるので、[デザインカテゴリエクスポート]を押します。



5. デザインカテゴリーエクスポート画面が表示されます。

[エクスポート]を押します。

▶ 適用開始日は、指定しないでください。



6. デザインカテゴリーの移行用ファイルが書き出され、ブラウザでダウンロードされます。

▶ ファイルを保存するか、開くかを選択するダイアログが表示されるときは、保存を選択してください。



DesignCategoryTreeExport.zip

※ファイル名の末尾には、ダウンロード回数を示す数字が付くことがあります。

次に、このファイルを本番環境に登録します。

「本番環境にデザインカテゴリー情報を登録する」<次ページ>に進んでください。



●デザインカテゴリーは、有効・無効に関わらず書き出されます

デザインカテゴリー・商品カテゴリー・部材カテゴリーは、状態(有効・無効)に関わらず、必ず移行用ファイルに書き出されます。もとの状態(有効・無効)もそのまま移行されます。

本番環境にデザインカテゴリ情報を登録する

▶ 本番環境

要約

操作概略

- ① 本番環境バックオフィスにログイン
- ② 商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→デザインカテゴリインポート

手順

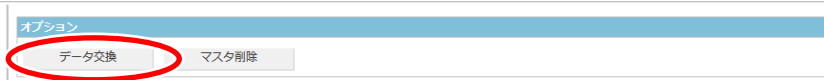
1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。
データを登録する商品のサービス名を選択します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取替商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入稿封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
72000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	喪中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。
「オプション」の[データ交換]を押します。

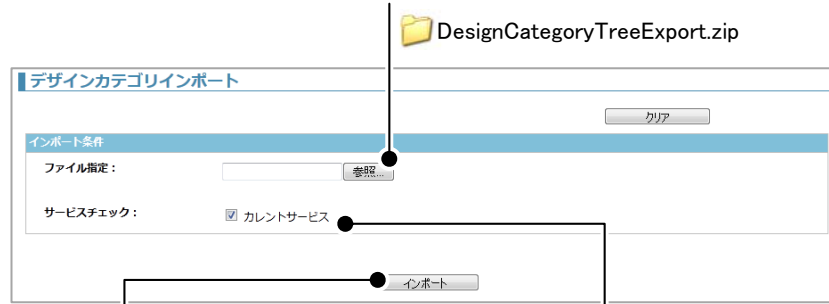


4. データ交換メニューが表示されるので、[デザインカテゴリインポート]を押します。



5. デザインカテゴリインポート画面が表示されます。

- ① ステージング環境から書き出した、移行用ファイルを選択します。

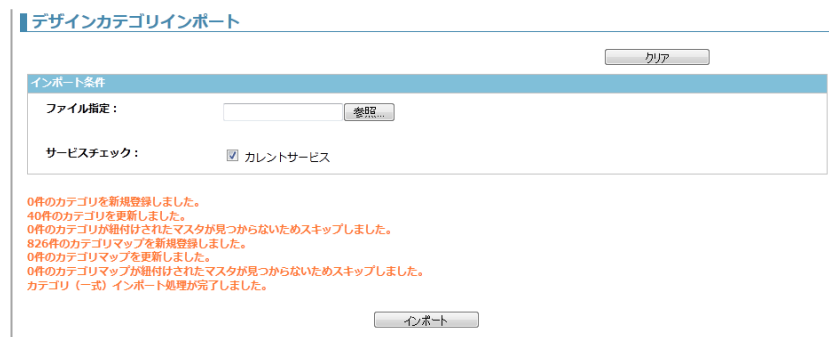


- ② [インポート]を押します。

i 「カレントサービス」にチェックを付けると、誤ってステージング環境と異なるサービスに登録しようとした場合、エラーを表示することができます。

6. インポート処理が行われます。

終了すると、画面下部にオレンジ色のインポート結果が列挙されます。



■メッセージの内容例

- ① 本番環境に新規に登録されたもの
40 件のカテゴリを新規登録しました。
- ② 本番環境にすでにあったカテゴリが更新されたもの
40 件のカテゴリを更新しました。
- ③ デザインテンプレートとデザインカテゴリの割り当てに問題があったもの
40 件のカテゴリが紐付けされたマスターが見つからないためスキップしました。

新規登録数や更新数がカウントされれば、デザインカテゴリの移行は完了です。

3

画面データの移行

ステージング環境に登録したサイトの画面一式を、本番環境に移行します。CMS機能で管理する動的画面と、FTPで管理する画像・CSS・静的画面で操作が異なります。

3.1 動的画面CMSデータの移行

CMSブロック編集で編集した動的画面のデータを、一括して本番環境に移行します。

ステージング環境から動的画面のCMSデータを書き出す

ステージング ▶

要約

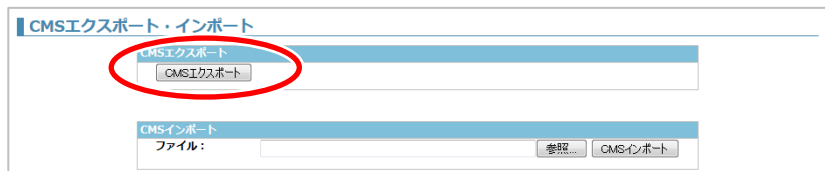
操作概略	①ステージング環境バックオフィスにログイン ②CMS管理→一括取得・設定→CMSエクスポート ③動的画面(CMSデータ)の移行用ファイルが書き出される
注意事項	書き出された移行用ファイルの中身は編集しないでください。移行できなくなります。

手順

1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、トップページ「CMS管理」の[一括取得・設定]を押します。



2. CMSエクスポート・インポート画面が表示されるので、[CMSエクスポート]を押します。



3. 動的画面の移行用ファイルが書き出され、ブラウザでダウンロードされます。

▶ファイルを保存するか、開くかを選択するダイアログが表示されるときは、保存を選択してください。



J3CMSEXP20130527180709.zip

※ファイル名の後半は、移行用ファイルが書き出された日時を示しています。

次に、このファイルを本番環境に登録します。

「本番環境に動的画面のCMSデータを登録する」<次ページ>に進んでください。



重要

●書き出された移行用ファイルを編集しないでください

書き出された移行用ファイルは、開いたり編集したりせず、そのまま本番環境に登録してください。一度でも解凍して中身を修正したり、ファイルを削除したりすると、本番環境に登録できなくなりますので注意してください。

要約

操作概略	①本番環境バックオフィスにログイン ②CMS管理→一括取得・設定→参照(移行用ファイル選択)→CMSインポート
注意事項	移行用ファイルの中身は編集せず、ステージング環境から書き出した状態のまま登録してください。

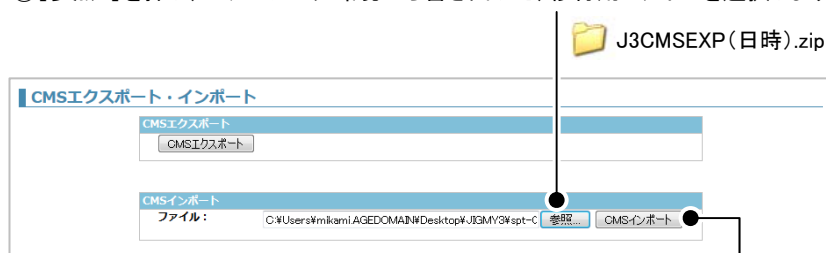
手順

1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページ「CMS管理」の[一括取得・設定]を押します。



2. CMSエクスポート・インポート画面が表示されるので、[参照...]を押して移行用ファイルを選択します。

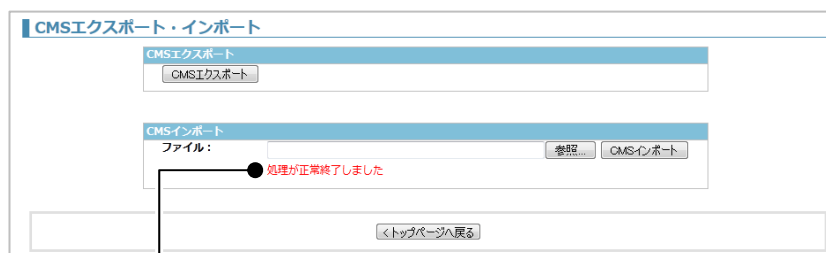
- ①[参照...]を押し、ステージング環境から書き出した、移行用ファイルを選択します。



- ②[CMSインポート]を押します。

3. インポート処理が行われます。

終了すると、画面下部に赤色で移行完了のメッセージが表示されます。



正常終了のメッセージ



●画像やCSSは別途移行してください

この操作で移行されるのは、動的画面のhtml部分のみです。画像やCSS、および静的画面データについては、次ページ以降に従い、FTPを使用して別途移行してください。

●システム領域のテキストを変更しているときは、別途移行してください

動的画面のシステム領域中のテキストを変更しているときは、そのデータを別途移行する必要があります。「システム領域のテキストの移行」<P.24>を参照してください。

3.2 画像・CSS・静的画面データの移行

画像ファイルやCSS、および静的画面のhtmlデータを、FTPで本番環境に移行します。

FTPサーバーのファイルを移行する

要約

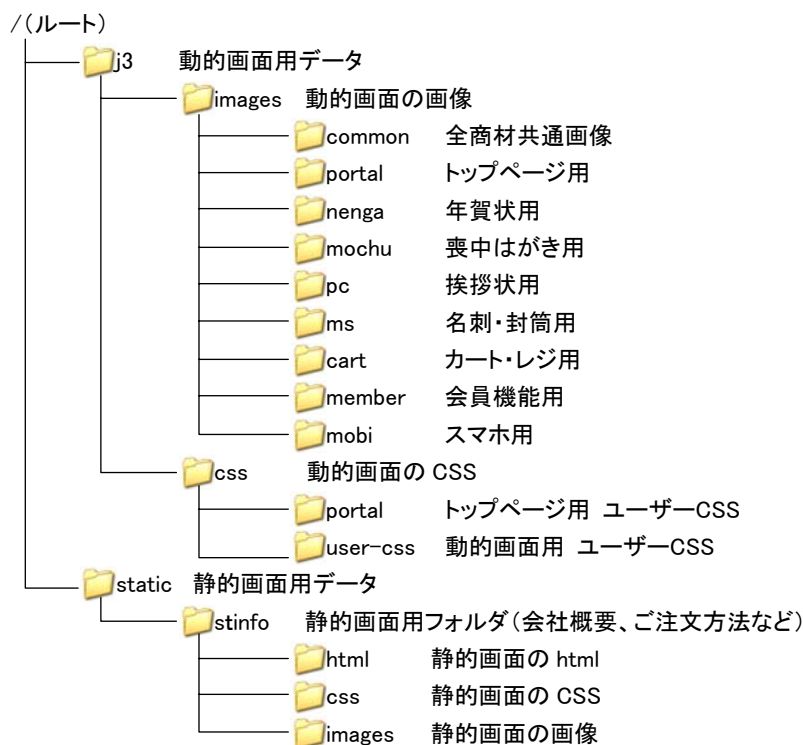
操作概略	①ステージング環境のFTPサーバーから、ファイル一式を作業用コンピューターに取得 ②取得したファイル一式を、本番環境のFTPサーバーに登録
注意事項	元のFTPのフォルダ構造は維持したまま移行してください。

手順

1. ステージング環境のFTPサーバーに接続し、移行するすべてのファイルを、いったん作業用コンピューターに取得(ダウンロード)します。

ステージング ▶

以下は契約者様にて変更されるファイルの格納されているフォルダです。これら以外にも独自のフォルダが存在するときは、それも取得してください。フォルダ構成の詳細については、「画面編集ガイド」の「FTPサーバーのフォルダ構成について」も参照してください。



2. 本番環境のFTPサーバーに接続し、作業用コンピューターに取得したファイルを、すべて本番環境に登録(アップロード)します。

▶ 本番環境

以上で画像・CSS・静的画面htmlの移行は完了です。移行によって、ステージング環境と、本番環境のFTPサーバーの内容が、同一になるよう注意してください。



重要

●大量のデータは、少しずつコピーしてください

FTPサーバー中のファイルは、すべてをそっくりそのまま本番環境に移行して構いません。しかし、一度に大量のFTP転送を行うと、非常に時間がかかったり、途中でエラーが発生したりして、どこまでが作業用コンピューターに正しく取得されたのかわからなくなることがあります。一定のフォルダ単位で少しずつコピーしてください。

変更を加えたフォルダが明確なときは、そのフォルダのみ移行しても構いません。

3.3 システム領域のテキストの移行

動的画面のシステム領域のテキストを編集した場合、そのデータも移行します。

■ ステージング環境からシステム領域のテキストを書き出す

ステージング ▶

要約

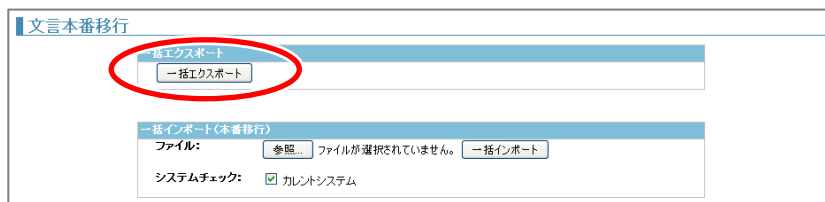
操作概略	①ステージング環境バックオフィスにログイン ②CMS管理→文言本番移行→CMSエクスポート ③システム領域のテキストの移行用ファイルが書き出される
注意事項	書き出された移行用ファイルの中身は編集しないでください。移行できなくなります。

手順

1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、トップページ「CMS管理」の[文言本番移行]を押します。



2. 文言本番移行画面が表示されるので、[一括エクスポート]を押します。



3. 動的画面の移行用ファイルが書き出され、ブラウザでダウンロードされます。

▶ ファイルを保存するか、開くかを選択するダイアログが表示されるときは、保存を選択してください。



J3CMSCONST20130527180709.zip

※ファイル名の後半は、移行用ファイルが書き出された日時を示しています。

次に、このファイルを本番環境に登録します。

「本番環境にシステム領域のテキストを登録する」<次ページ>に進んでください。



重要

●書き出された移行用ファイルを編集しないでください

書き出された移行用ファイルは、開いたり編集したりせず、そのまま本番環境に登録してください。一度でも解凍して中身を修正したり、ファイルを削除したりすると、本番環境に登録できなくなりますので注意してください。

要約

操作概略	①本番環境バックオフィスにログイン ②CMS管理→文言本番移行→参照(移行用ファイル選択)→一括インポート
注意事項	移行用ファイルの中身は編集せず、ステージング環境から書き出した状態のまま登録してください。

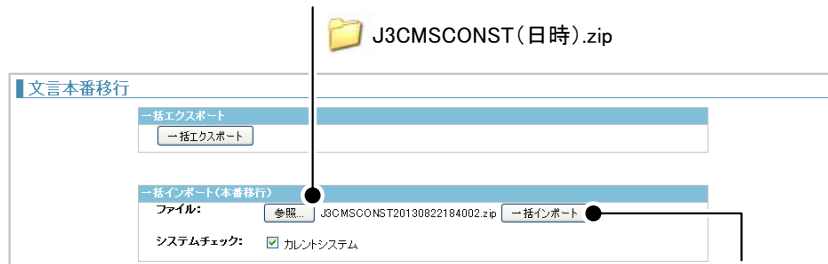
手順

1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページ「CMS管理」の[文言本番移行]を押します。



2. 文言本番移行画面が表示されるので、[参照...]を押して移行用ファイルを選択します。

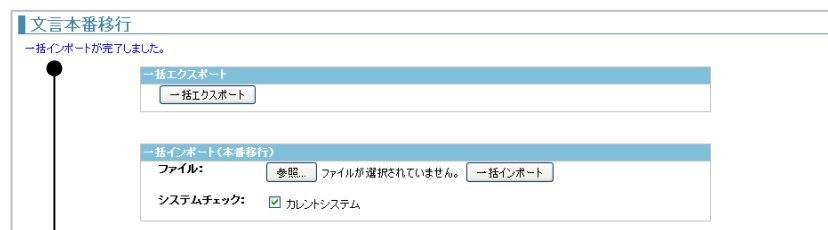
①[参照...]を押し、ステージング環境から書き出した、移行用ファイルを選択します。



②[一括インポート]を押します。

3. インポート処理が行われます。

終了すると、画面上部に青色で移行完了のメッセージが表示されます。



正常終了のメッセージ

以上でシステム領域のテキストの移行は完了です。

4

運用情報の本番登録

メールテンプレートや割引マスターの情報などを、本番環境にも同じように登録します。ステージング環境から情報を書き出して移行するのではなく、同じ内容を本番環境に直接登録します。ステージング環境と本番環境の内容に差が出ないようにしてください。

4.1 メールマスターの本番登録

本番環境にメールアドレス・メール本文を登録する

▶ 本番環境

要約

操作概略	①本番環境バックオフィスにログイン ②メールマスター管理→(メール選択)編集→件名・本文・各種アドレスの入力
注意事項	必ず、ステージング環境でテストを済ませたものと同じ内容を登録してください。 メール本文中に記載のURLが、本番環境のドメインであることを確認してください。

手順

1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページの[メールマスター管理]を押します。



2. メールマスター一覧画面が表示されるので、編集するメールを選択します。

メールマスター一覧		
内容を変更するメールマスタを選択し、[編集]を押してください。		
ショップ	メール種類	件名
ジグミーデモ	注文確定	【AGDEV環境】ご注文受付のご案内
ジグミーデモ	入金確認メール	【AG環境】入金確認のご連絡
ジグミーデモ	出荷済みメール	【AG環境】出荷のご連絡
ジグミーデモ	受取店への発送メール	【AG環境】受取店への発送が完了しました
ジグミーデモ	受取店へ到着メール	【AG環境】受取店に商品が到着しました
ジグミーデモ	会員登録完了	【AGDEV環境】ジグミー ショップ 会員登録完了のご連絡
ジグミーデモ	会員登録完了(法人サービス)	【AGDEV環境】ジグミー ショップ 会員登録完了のご連絡

3. メールマスター編集画面が表示されるので、ステージング環境と同じ内容を入力します。

- ①ステージング環境でテスト済みのものと、同じ件名・本文・アドレスを入力します。

メールマスター編集

マスタ内容を編集し、[登録実行]を押してください。

ショップ名	ジグミーデモ
メール種類	注文確定
件名	【ジグミーショップ】ご注文受付のご案内
本文	<div> <div> <p>メール本文中に記載されている、ショップサイトのURLなどは、必ず本番環境のものになっていることを確認してください</p> </div> <div> <p>■メールテンプレート編集・送信テスト中</p> <p><#-- Order Mail - Freemarket Template --></p> <p><#-- 2011.11.25 --></p> <p>ジグミーASP ショップ ご注文のご確認(サンプル)</p> </div> </div>

BC04アドレス

送信者アドレス

送信者名

返信用アドレス

エラー時アドレス

X-Mailer

jigmy-shop@agenda.co.jp

ジグミーショップ

jigmy-shop@agenda.co.jp

system@agenda.co.jp

JIGMY3

登録実行

- ②[登録実行]を押します。

同様に、他のメールもステージング環境と同じ内容で登録します。
詳しくは、「運用ガイド3 業務編」の「メール管理」を参照してください。



●メール本文に、ステージング環境のURLを入力しないでください

ステージング環境のメールマスターは、文章の内容がエンドユーザー様にお送りしても問題のないものであるか、またメールが正しく送信されるかを確認するために使用します。メールの本文には、ショップサイトのURLや、注文状況の確認画面のURLなども含まれますが、これらも実際にエンドユーザー様に送られるものと同じ、本番環境のものでなくてはなりません。

弊社からの納入時のステージング環境では、メールマスター中のURLは本番環境のURLになっていますので、これをステージング用書き換えたりしないでください。うっかり同様の内容を本番環境に登録してしまい、エンドユーザー様にステージング環境のURLが送信されてしまうなどのトラブルのもとになります。

なお、実際に注文状況の確認画面がステージング環境で表示されるかどうかは、メール中にステージング環境のURLを入れたりせず、そのURLを直接ブラウザに入力するなどして確認を済ませてください。

4.2 口座番号の本番登録

決済方法として銀行振込を使用するときは、本番環境にもステージング環境と同じ内容の口座情報を登録します。

本番環境に銀行口座情報を登録する

▶ 本番環境

要約

操作概略	①本番環境バックオフィスにログイン ②口座番号管理→口座番号登録
注意事項	必ず、ステージング環境でテストを済ませたものと同じ内容を登録してください

手順

1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページの[口座番号登録]を押します。



2. 口座番号マスター登録画面が表示されるので、ステージング環境と同じ内容を登録します。

—— ステージング環境でテストしたものと、同じ内容を入力してください。

3. [登録実行]を押すと、口座番号が登録されます。

銀行口座情報の詳細は、「運用ガイド3 業務編」の「銀行口座管理」を参照してください。

4.3 割引マスターの本番登録

割引マスターはステージング環境に登録・テスト後、本番環境にも同じ内容で新たに登録します。ステージング環境では動作テストのため、割引開始日を実際よりも早めて登録することがありますが、本番環境には実際の割引開始日を登録します。

本番環境に割引マスターを登録する

▶ 本番環境

要約

操作概略	①本番環境バックオフィスにログイン ②マスター管理→割引マスター登録
注意事項	必ず、ステージング環境でテストを済ませたものと同じ内容を登録してください。 ただし、割引期間はテストに使用した期間ではなく、実際の割引期間を登録します。

手順

1. 本番環境のバックオフィスにログインし、「マスター管理」の[割引マスター登録]を押します。



2. 割引マスター登録画面が表示されます。

- ①割引内容は、ステージング環境で登録・テストしたものと同一にしてください。
ただし、**割引期間は例外です。**

割引マスター登録

マスター内容を入力し、「登録」を押してください。

割引マスター

ショップ: アジェンダ本店

割引タイプ:

- ☐ 商品価格割引 (例:商品価格を10%にするなど。年賀状の「早割」等。
- ☐ 複数注文割引 (例:2商品以上の注文の場合、1商品毎に500円引きにする等。
- ☐ カート割引 (例:カートの合計から一律1,000円引きにする等。
- ☐ リピート割引 (例:過去に購入したことがあれば、5%引きにする等。

優先順位:

- 商品価格割引が最優先となり、商品価格割引の優先順位が早いものから適用されます。
- 次に複数注文割引がカート割引がリピート割引から優先順位が早いものから適用されます。
- 最後にクーポンが適用されます。
- クーポン(例)に適用したい割引は下記【クーポン(例)に適用】にチェックを入れてください。
- クーポン(例)に適用される割引も優先順位の早いものから適用されます。

優先順位

☐ クーポン(例)に適用

会員設定: ☐ 会員限定割引とする

割引名称: (例)年賀状早割20%OFF

割引期間: [] ~ []

状態: ☐ 無効 ☒ 有効

対象サービス: (すべて)

対象商品: (すべて)

割引種別: 定額割引

割引率(DR): (例)定額割引 25%のとき・・・「0.25」

割引率(DA): (例)定額割引 500円のとき・・・「500」

割引条件: 個以上の商品毎に 円割引 計算式に反映

計算式:

数量範囲: ~

リピート有効日数: (例)1年間のとき・・・「365」

登録



②本番環境の割引期間は、テスト用の期間ではなく、**実際の期間**を登録してください。

※割引期間は、入力した**開始日時以降・終了日時未満**となります。

3. [登録]を押すと、割引マスターが登録されます。

割引マスターの詳細は、「運用ガイド3 業務編」の「割引を設定する」を参照してください。

4.4 クーポン情報の本番登録

クーポンはステージング環境に登録・テスト後、本番環境にも同じ内容で新たに登録します。クーポンの有効期限は、ステージング環境のテスト用のものではなく、実際の有効期限とします。



●本物のクーポンは、本番環境で発行してください

ステージング環境で発行したクーポンは、本番環境では使用できません。両者で発行したクーポン番号は異なります。

エンドユーザー様に連絡する本物のクーポンは、**必ず本番環境で発行してください。**

本番環境にクーポン情報を登録する

▶ 本番環境

要約

操作概略

- ①本番環境バックオフィスにログイン
- ②クーポン管理→クーポン発行
- ③クーポン管理→クーポン検索→(発行されたクーポン番号を確認)
- ④発行されたクーポン番号をエンドユーザーに連絡

注意事項

必ず、ステージング環境でテストを済ませたものと同じ内容を登録してください。
ただし、有効期限はテストに使用した期間ではなく、実際の有効期限を登録してください。

手順

1. 本番環境のバックオフィスにログインし、「クーポン管理」の[クーポン発行]を押します。



2. 新規クーポン情報登録画面が表示されます。

- ①クーポンの内容は、ステージング環境で登録・テストしたものと同一にしてください。
ただし、**有効期限は例外です。**

②本番環境の有効期限は、テスト用の期間ではなく、実際の期間を登録してください。
※有効期限は、入力した開始日時以降・終了日時未満となります。

- ②[登録]を押すと、クーポン情報が登録され、クーポンが発行されます。

続いて、発行されたクーポン番号を確認します。

3. バックオフィスのトップページから、「クーポン管理」の[クーポン検索]を押します。

 **必ず、本番環境のバックオフィスで操作してください。**



4. クーポン検索画面が表示されます。

検索条件を設定し、[検索実行]を押します。

①必要に応じてクーポンの検索条件を設定します。

クーポン検索

クーポン情報を検索します。
必要に応じて検索条件を指定し、[検索実行]を押してください

検索条件

ショップ: (すべて) [v]
発行No: [] 完全一致検索
クーポン番号: [] 前方一致検索
有効日: 2012/07/31 [] 00:00 (例) 2012/11/06 09:00
メモ: [] 部分一致検索
状態: ☒ 無効 ☒ 有効

検索実行

②[検索実行]を押します。

5. 登録されているクーポンの一覧が表示されます。

検索されたクーポン一覧

検索実行

4件中: 1～4件目 [1]

発行No	ショップ	クーポン番号	状態	期限	回数	残	割引率	割引額	メモ
1060	ジグミーデモ	F1M60GT0	有効	2012/04/24 0:00:00～2013/04/29 0:00:00	10	10		1,000	
1061	ジグミーデモ	K1A60XB1	有効	2012/04/24 0:00:00～2014/04/29 0:00:00	10	9		300	
1069	ジグミーデモ	J1X60TF9	有効	2012/04/24 0:00:00～2012/07/31 0:00:00	10	10		300	テスト
1070	ジグミーショップ1	J1X70HQ0	有効	2012/07/11 0:00:00～2012/07/31 0:00:00	1	1		100	

4件中: 1～4件目 [1]

クーポン番号(半角英数字で生成されます)

クーポン一覧、またはクーポン番号の欄をドラッグしてコピーし、Excel 等に貼り付けて取得します。

クーポンについての詳細は、「運用ガイド3 業務編」の「クーポンを発行する」以降を参照してください。



●クーポン番号の連絡間違いにご注意ください

一度発行されたクーポン番号は、弊社においても決して変更ができません。また特定の番号を設定したクーポンを発行することもできません。もし、DMなどに間違ったクーポン番号を印刷して注文者(エンドユーザー)に配布してしまうと、そのコストがすべて無駄になってしまいます。過去に実際に事故が起きていますので、クーポン番号はよくお確かめのうえ注文者に連絡してください。また本物のクーポンは必ず本番環境で発行してください。

●クーポン番号は、半角英数字で生成されます

クーポン番号は半角英数字で生成されます。メールなどで注文者に連絡するときは、全角で記載しないようにご注意ください。

また、数字の0や1と間違いやすいため、英字のO(オー)とI(アイ)は出力されません。

5

その他データの移行

商材によって必要な、その他の以降作業について解説します。

5.1 商品カテゴリの移行(データ入稿封筒)

データ入稿封筒では、商品カテゴリという情報が存在します。はじめにステージング環境から移行用ファイルを書き出し、それを本番環境に読み込みます。

ステージング環境から商品カテゴリ情報を書き出す

ステージング ▶

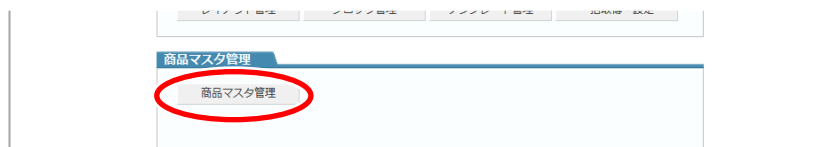
要約

操作概略

- ①ステージング環境バックオフィスにログイン
- ②商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→商品カテゴリエクスポート
- ③商品カテゴリの移行用ファイルが書き出される

手順

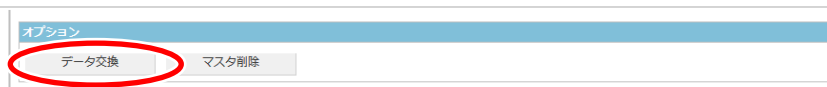
1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。
データを移行する商品のサービス名を選択します。

サービスコード	サービス名	取替商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入稿封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
72000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	費中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。
「オプション」の[データ交換]を押します。



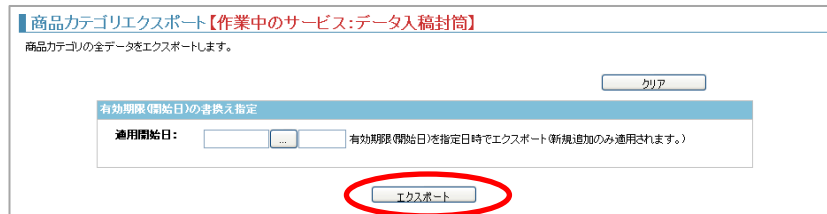
4. データ交換メニューが表示されるので、[商品カテゴリエクスポート]を押します。



5. 商品カテゴリエクスポート画面が表示されます。

[エクスポート]を押します。

- ▶ 適用開始日は、指定しないでください。



6. 商品カテゴリの移行用ファイルが書き出され、ブラウザでダウンロードされます。

- ▶ ファイルを保存するか、開くかを選択するダイアログが表示されるときは、保存を選択してください。



ProductCategoryTreeExport.zip

※ファイル名の末尾には、ダウンロード回数を示す数字が付くことがあります。

次に、このファイルを本番環境に登録します。

「本番環境に商品カテゴリ情報を登録する」<次ページ>に進んでください。

本番環境に商品カテゴリ情報を登録する

▶ 本番環境

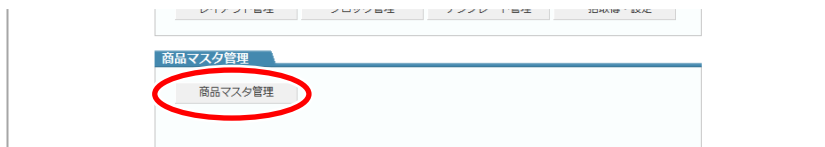
要約

操作概略

- ① 本番環境バックオフィスにログイン
- ② 商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→商品カテゴリインポート

手順

1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。
データを登録する商品のサービス名を選択します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取替商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入稿封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
72000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	喪中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。
「オプション」の[データ交換]を押します。



4. データ交換メニューが表示されるので、[商品カテゴリインポート]を押します。



5. 商品カテゴリインポート画面が表示されます。

- ① ステージング環境から書き出した、移行用ファイルを選択します。

ProductCategoryTreeExport.zip

商品カテゴリインポート【作業中のサービス: データ入稿封筒】

クリア

インポート条件

ファイル指定: 参照... ProductCategoryTreeExport.zip

サービスチェック: ☒ カレントサービス

インポート

- ② [インポート]を押します。

i 「カレントサービス」にチェックを付けると、誤ってステージング環境と異なるサービスに登録しようとした場合、エラーを表示することができます。

6. インポート処理が行われます。

終了すると、画面下部にオレンジ色のインポート結果が列挙されます。

サービスチェック: ☒ カレントサービス

0件のカテゴリを新規登録しました。

40件のカテゴリを更新しました。

0件のカテゴリが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。

826件のカテゴリマップを新規登録しました。

0件のカテゴリマップを更新しました。

0件のカテゴリマップが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。

カテゴリ（一式）インポート処理が完了しました。

インポート

■メッセージの内容例

- ① 本番環境に新規に登録されたもの
40 件のカテゴリを新規登録しました。
- ② 本番環境にすでにあったカテゴリが更新されたもの
40 件のカテゴリを更新しました。

新規登録数や更新数がカウントされれば、商品カテゴリの移行は完了です。

5.2 部材カテゴリの移行(データ入稿封筒)

データ入稿封筒では、部材カテゴリ情報も存在します。商品カテゴリ情報と同様に、ステージング環境から移行用ファイルを書き出し、それを本番環境に読み込みます。

ステージング環境から部材カテゴリ情報を書き出す

ステージング ▶

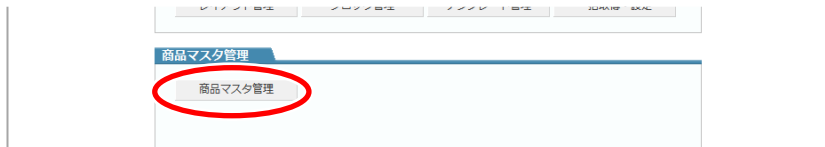
要約

操作概略

- ①ステージング環境バックオフィスにログイン
- ②商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→部材カテゴリエクスポート
- ③部材カテゴリの移行用ファイルが書き出される

手順

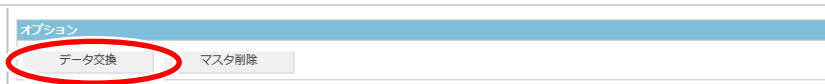
1. ステージング環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。
データを移行する商品のサービス名を選択します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取替商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入稿封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
72000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	喪中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。
「オプション」の[データ交換]を押します。



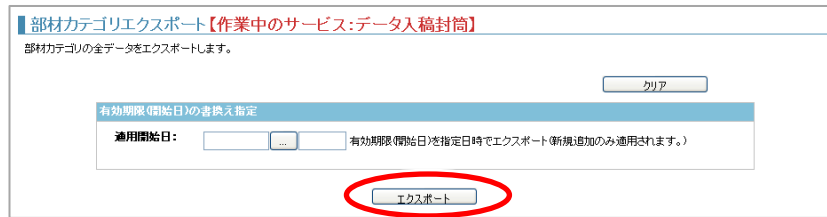
4. データ交換メニューが表示されるので、[部材カテゴリエクスポート]を押します。



5. 部材カテゴリエクスポート画面が表示されます。

[エクスポート]を押します。

▶ 適用開始日は、
指定しないでくだ
さい。



6. 部材カテゴリの移行用ファイルが書き出され、ブラウザでダウンロードされます。

▶ ファイルを保存す
るか、開くかを選
択するダイアログ
が表示されるとき
は、保存を選択し
てください。



MaterialCategoryTreeExport.zip

※ファイル名の末尾には、ダウンロード回数を示す数字が付くことがあります。

次に、このファイルを本番環境に移行します。

「本番環境に部材カテゴリ情報を登録する」<次ページ>に進んでください。

本番環境に部材カテゴリ情報を登録する

▶ 本番環境

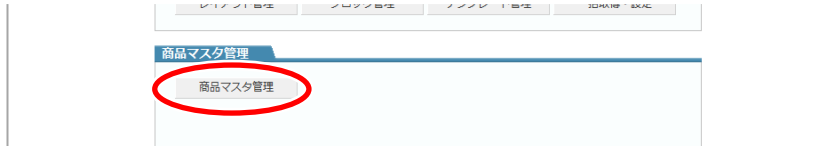
要約

操作概略

- ① 本番環境バックオフィスにログイン
- ② 商品マスター管理→(サービス選択)→データ交換→部材カテゴリインポート

手順

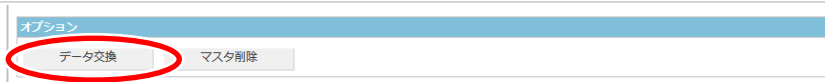
1. 本番環境のバックオフィスにログインし、トップページの[商品マスター管理]を押します。



2. サービスマスター一覧画面が表示されます。
データを登録する商品のサービス名を選択します。

サービスマスター一覧						
サービスコード	サービス名	取替商品タイプ	開始日	終了日	状態	
10000	名刺	デザイン商品	2012/01/02 00:00	2023/01/01 00:00	有効	選択
11000	封筒	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
11001	データ入稿封筒	デザイン商品	2010/12/18 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
72000	挨拶状	デザイン商品	2010/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
75000	年賀状	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択
76000	喪中	デザイン商品	2011/12/01 00:00	2099/12/31 00:00	有効	選択

3. 商品マスター管理トップ画面が表示されます。
「オプション」の[データ交換]を押します。




4. データ交換メニューが表示されるので、[部材カテゴリインポート]を押します。



5. 部材カテゴリインポート画面が表示されます。

- ① ステージング環境から書き出した、移行用ファイルを選択します。

 MaterialCategoryTreeExport.zip

部材カテゴリインポート【作業中のサービス: データ入稿封筒】

インポート案件

ファイル指定:

参照...

ファイルが選択されていません。

サービスチェック:

☒

カレントサービス

インポート

- ② [インポート]を押します。

i 「カレントサービス」にチェックを付けると、誤ってステージング環境と異なるサービスに登録しようとした場合、エラーを表示することができます。

6. インポート処理が行われます。

終了すると、画面下部にオレンジ色のインポート結果が列挙されます。

サービスチェック:	<input checked="" type="checkbox"/> カレントサービス
<div>0件のカテゴリを新規登録しました。</div> <div>40件のカテゴリを更新しました。</div> <div>0件のカテゴリが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。</div> <div>826件のカテゴリマップを新規登録しました。</div> <div>0件のカテゴリマップを更新しました。</div> <div>0件のカテゴリマップが紐付けされたマスタが見つからないためスキップしました。</div> <div>カテゴリ（一式）インポート処理が完了しました。</div>	
<div>インポート</div>	

■メッセージの内容例

- ① 本番環境に新規に登録されたもの
40 件のカテゴリを新規登録しました。
- ② 本番環境にすでにあったカテゴリが更新されたもの
40 件のカテゴリを更新しました。

新規登録数や更新数がカウントされれば、部材カテゴリの移行は完了です。

6

最終チェック

本番環境への移行が完了したら、オープン前に最終チェックを行います。

6.1 運用開始前チェック

運用開始前チェック

次の点に注意して、本番環境の最終チェックを行ってください。

チェック	確認事項	備考
<input type="checkbox"/>	商品情報をすべて移行しましたか	
<input type="checkbox"/>	価格の表示確認をステージング環境で行いましたか	
<input type="checkbox"/>	最新の価格情報を本番環境にも移行しましたか	
<input type="checkbox"/>	デザインテンプレートを本番環境にも登録しましたか	サムネイルは商品情報の移行の際に移行されます。
<input type="checkbox"/>	画面データを移行しましたか	FTPサーバーの画像・CSS・静的画面などの移行を忘れていませんか。
<input type="checkbox"/>	動的画面のシステム領域のテキストは移行しましたか	動的画面のシステム領域のテキストを変更した場合、その移行も別途必要です。
<input type="checkbox"/>	トップページの「お気に入りに追加」の動作は正しいですか	ステージング環境のURLや、違うサイトのURLがお気に入りに登録されたりしませんか。
<input type="checkbox"/>	メールが送信されることを確認しましたか	
<input type="checkbox"/>	メールは本番環境で最新の状態になっていますか	
<input type="checkbox"/>	メールに記載されているショップサイトのURLは正しいですか	ステージング環境のURLになっていませんか。
<input type="checkbox"/>	銀行口座を本番環境にも登録しましたか	決済方法で銀行振込を使用するときのみです。
<input type="checkbox"/>	割引の有効期間に問題はありますか	割引終了日は、設定した日時「未満」になりますのでご注意ください。
<input type="checkbox"/>	クーポンは「本番環境で発行した番号」をエンドユーザー様に連絡しましたか	ステージング環境で発行したクーポン番号は、本番では使えません。
<input type="checkbox"/>	クレジットカードのオーソリテストは行いましたか	注文時に正しくカード決済ができるかどうかの確認です。
<input type="checkbox"/>	クレジットカードの取り消しテストは行いましたか	
<input type="checkbox"/>	クレジットカードの売上処理テストは行いましたか	

ジグミー(R)
本番環境移行ガイド

●発行日

2013 年 8 月 23 日 第 1 版

●発行者

株式会社アジェンダ